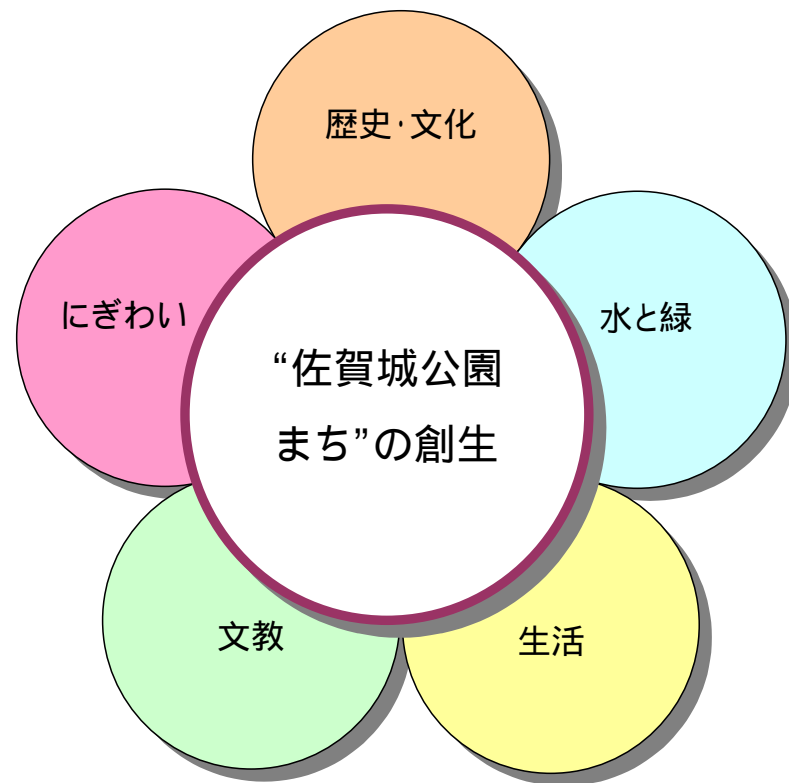


佐賀城下再生百年構想

佐賀城下再生百年構想のコンセプト

- ・孫の世代(100年後)まで受け継げるような品格ある佐賀城下を再生します。
- ・水、緑といった自然的な空間や歴史的雰囲気を感じる公園と住宅地や公共公益施設との調和のとれた空間を形成します。
- ・“佐賀城公園まち”を中心に佐賀城下の歴史・文化、水と緑を大切に維持しながら、生活、にぎわい、文教機能を高めていきます。



佐賀城下再生百年構想の目標

1. 住民と行政の協働のまちづくり

- ・住民主体のまちづくり機運の高揚
- ・佐賀県、佐賀市、県民の協働まちづくり
- ・できることから具体的な動きを起こす

2. 地域コミュニティ活性化

- ・空き屋・人口減少などの地域問題への対応
- ・地元の子供たちへの佐賀城下の歴史文化の継承

3. 品格ある佐賀城下景観の形成

- ・佐賀城下の町並み景観の再生
- ・城内水路や多布施川の活用

4. くつろぎ・にぎわいの空間創出

- ・佐賀城本丸歴史館と連携した観光拠点形成
- ・住民と連携した地域振興の活動おこし
- ・地元住民が観光客をもてなす場づくり

5. 周辺地域との連携

- ・佐賀城内から城下へのエリア拡大
- ・中心市街地や柳町等の観光エリアとのネットワークや都市軸の構築

3つの方針(3部会)

佐賀城下のまちづくり方針

- ・子供たちが安心して遊べる街環境づくり
- ・品格ある城内空間と交通利便性の調和
- ・まちづくり活動の継続体制の構築
- ・若い世代へのまちづくり活動の継承

佐賀城下の観光戦略

- ・幕末の歴史・鍋島を売り込む
- ・観光客へのもてなしの向上
- ・リピーターを呼び込む仕掛けをつくる
- ・若い世代に歴史を伝える種まき活動の開催
- ・物語性のある歴史観光コースの形成
- ・佐賀城門前空間の積極的活用

佐賀城公園・景観づくり方針

- ・佐賀城本丸歴史館・万部島・松原神社とつなぐ動線の形成
- ・万部島のシンボル性を活用した景観形成
- ・親しみやすい多布施川・水路景観の創出
- ・佐賀城と連携した街路景観の創出

テーマ別の取り組み

まちづくり体制の構築

- ・活動部隊の構築・支援方策の検討
- ・3部会のまちづくり組織への展開(自治会、市民団体、県、市、大学等参加の協議会の設置)

城内のみちづくり

- ・城内交通システムの検討会の設置
- ・城内居住者、歩行者に優しい道づくり
- ・城内景観、住宅地交通体系、公共交通ネットワークと一体となった交通環境の構築

佐賀城二ノ丸プロジェクト

- ・当面の実験スペースとしての活用策を検討
- ・暫定イベントを活用した市民・観光客の客層・ニーズ等の把握(マーケティング)
- ・協和館の移転の検討
- ・観光関連のサービス拠点(オリエンテーション、休憩、飲食、物販など)の形成へと展開
- ・「佐賀御膳」「鍋島36万石」などの覚えやすいネーミング

観光ルートづくり

- ・歴史文化研究会の開催(歴史文化発掘、ガイド育成)
- ・佐賀の歴史・物語を感じる城下周遊ルートの形成
- ・観光客に対応した案内板、サインの整備、デザインの統一

水路のまちづくり

- ・城内のみちづくりや住まい・町並みづくりと一体となった空間づくり
- ・多布施川・水路研究会の開催
- ・佐賀城下のシンボルとしての万部島の再生
- ・東城内地区を「水路のまち」モデル地区として再生

城内の住まい・町並みづくり

- ・城内3小路(本丸、二の丸、西城内)の再生
- ・空き屋(二の丸別館等)の活用
- ・二ノ丸小路のモデル整備
- ・佐賀城下の風格を保つ住宅地の形成
- ・高齢者や子育て世代など多世代居住の可能な環境づくり

具体的な取り組み展開イメージ

○周辺地域との連携

- ・佐賀城内から城下への連携
- ・中心市街地や周辺の観光エリアとネットワークする都市軸の構築

○城内の入り口機能

- ・門のイメージ
- ・サインの整備

○将来のネットワーク軸

- ・佐賀神社・徴古館との連携
- ・柳町・中心市街地との連携

○街なか居住エリア

- ・城内の居住モデルの構築
- ・空き地・空き屋等の対策検討
- ・路地風景の再生

○周辺地域との連携

- ・観光ルート化などによる大隈重信生家や周辺の観光エリアとのネットワーク構築

○万部島整備

- ・地域シンボルの整備
- ・水辺空間整備との連携
- ・町並み整備との連携

○城内公園ネットワーク化

- ・周遊できる公園整備
- ・万部島との連携

○「水路のまち」づくりモデルエリア

- ・住民主体での水路と小路と住宅等の周辺環境が一体となったまちづくり
- ・町並み整備と水辺空間整備、交通システムの構築の連携

○街なか居住エリア

- ・城内の居住モデルの構築
- ・空き地・空き屋等の対策検討
- ・路地風景の再生

○城内の入り口機能

- ・門のイメージ
- ・サインの整備

○城内の入り口機能

- ・門のイメージ
- ・サインの整備

○町並みの整備

- ・親水空間と生活道路のデザインを検討
- ・地域にあった交通の仕組みを検討
- ・植栽ルール等の検討
- ・路地風景の再生

○将来の土地活用エリア

- ・社会動向の変化に合わせて整備イメージを形成

○二の丸プロジェクトエリア (にぎわい・もてなし拠点)

- ・観光客、地元利用可能な施設
- ・飲食や買い物ができるスペース
- ・地元住民が観光客をもてなす場
- ・観光情報提供スペース
- ・東西線の緑化
- ・外壁ファサードの景観デザイン
- ・公共交通や駐車場等の交通システムの検討

○城濠の復元

- ・再生・活用イメージの形成

○二の丸の入り口機能

- ・門のイメージ
- ・サインの整備

○城内の入り口機能

- ・門のイメージ
- ・サインの整備



0 50 100 150 200 250m

図中の点線矢印は、エリア間の連携などのイメージを示すもので、道路の整備などとは関係ありません。